

令和2年度

盛岡市 都市 景観賞

2020 Morioka Urbanscape Prize



盛岡市

上ノ橋町Ⅰ邸



上ノ橋から北の中津川沿いに建つ、木造二階の戸建て住宅です。茶系の外壁と石積み風のしつらえがモダンで広いテラスが印象的ながら、和風の落ち着いた雰囲気もあります。色彩もさることながら、堀に沿った植栽などの構成の調和がとてもよく、歴史的な街路の空間・まちなみふさわしいものとなっています。

中津川のほとりに位置し、上ノ橋や旧井弥商店にもほど近く、河川景観及び歴史的町並みの保全のために重要なエリアに属しています。対岸からの景観を意識した設計で、様々な面で注目を集めていることからも今後の街並み形成のモデルになつてもらいたいという期待を込めて選ばれました。



第1ボルダリング競技場



県営運動公園内に新しく開設されたボルダリング競技場です。

白を基調とした清潔感のある前面デザインとカラフルな配色の様々な形のホールドや、目を引く赤色の吊り屋根など、岩手の工芸品をイメージした建物の色調が行き交う人たちの目を楽しませています。

県民が楽しめるイベントや、ハイレベルな国際大会などを継続的に誘致しようと整備された施設で、隣接して整備されたスピードやリード施設、芝生広場などを含め、エリア一帯がスポーツクライミング施設としての景観を形成しています。大会ともなれば選手や観客でにぎわう場となりそうです。運動公園内にまた一つ魅力的な景観を創出する施設が加わりました。

てしろもりの丘



手代森の高台に開設された平屋建ての福祉施設です。ベージュを基調とした落ち着きのある清潔感のある配色で、広い床面積でありながら複層階にせず、配置についても周囲の山々の稜線の眺望を保全するよう配慮され、緑豊かな自然景観との調和のとれた周辺環境に溶け込むようなデザインとなっています。深い軒の出も違和感なくデザインに溶け込み、同時に維持管理を容易にし、建物の長寿命化の役目を果たしています。

建物と外壁のサインや、植栽の配置のバランスも洗練された印象を醸し出し良好な景観を形成しています。エントランスの寄せ植えも訪れた人に優しい雰囲気を与えています。

やさしい平仮名の名称と同様に、親しみやすい施設となるでしょう。



●令和2年度 盛岡市都市景観賞 受賞物件 (敬称略)

名称	所在地	建築主等	設計者	施工者	完成年
上ノ橋町1邸	上ノ橋町	—	アトリエf	株式会社アルバライフ	令和元年
第1ボルダリング競技場	みたけ一丁目	岩手県	株式会社 武田菱設計	樋下建設株式会社	令和2年
てしろもりの丘	手代森6地割	岩手県	株式会社 武田菱設計	(株)高光建設・(株)熊谷工務店 特定共同企業体	令和2年

●応募状況と受賞件数

応募者数	応募件数	審査対象件数	受賞件数
19人	15件	13件	3件

●表彰基準

「盛岡市都市景観賞実施要綱第4」より

都市景観賞の対象は、完成後おおむね5年以内の建築物等であるほか、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| ①一般に公開され、または開放されているものであること。 | ⑤自然景観に調和しているものであること。 |
| ②暫定的なものでないこと。 | ⑥歴史的景観を継承しているものであること。 |
| ③敷地内に緑地又は広場の空間を適切に配置しているものであること。 | ⑦その他都市景観の形成に寄与しているもので
あること。 |
| ④周辺地域に調和しているものであること。 | |

●盛岡市景観形成推進委員会名簿 (50音順・敬称略)

内田 信平 (岩手県立大学盛岡短期大学部 准教授)

大櫻 薫 (公益財団法人盛岡コンベンション協会いわて盛岡広域観光センター長)

大瀧 英知 (特定非営利活動法人いわて景観まちづくりセンター 理事)

金沢 滋 (岩手・木質バイオマス研究会 顧問)

川村 久子 (ColorStudio 川村工房 代表)

工藤 学 (国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 計画課長)

紺野 恵彦 (岩手県県土整備部都市計画課 まちづくり課長)

杉本 吉武 (アートディレクター)

鷹脣 紅子 (有限会社鷹脣建築設計事務所 代表取締役)

中居 真一 (株式会社中居都市建築設計 取締役設計長)



渋民公園からの姫神山眺望